

今回の基本指針の変更（案）のポイント

【令和5/6年の主食用米等の需給実績（速報値）】

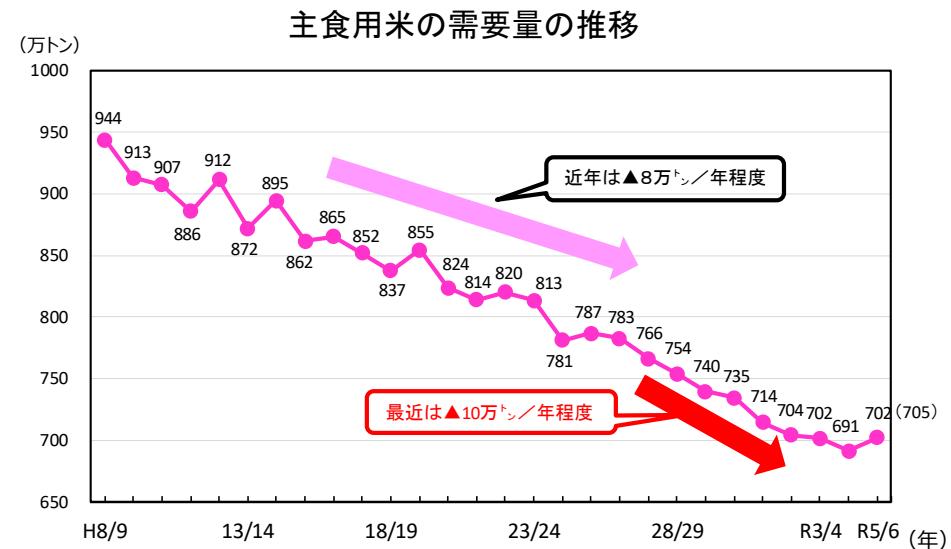
(単位:万トン)		
令和5年6月末民間在庫量	A	197
令和5年産主食用米等生産量	B	661
令和5/6年主食用米等供給量計 C=A+B		858
令和5/6年主食用米等需要量	D	702
令和6年6月末民間在庫量	E=C-D	156

【令和6/7年の主食用米等の需給見通し】

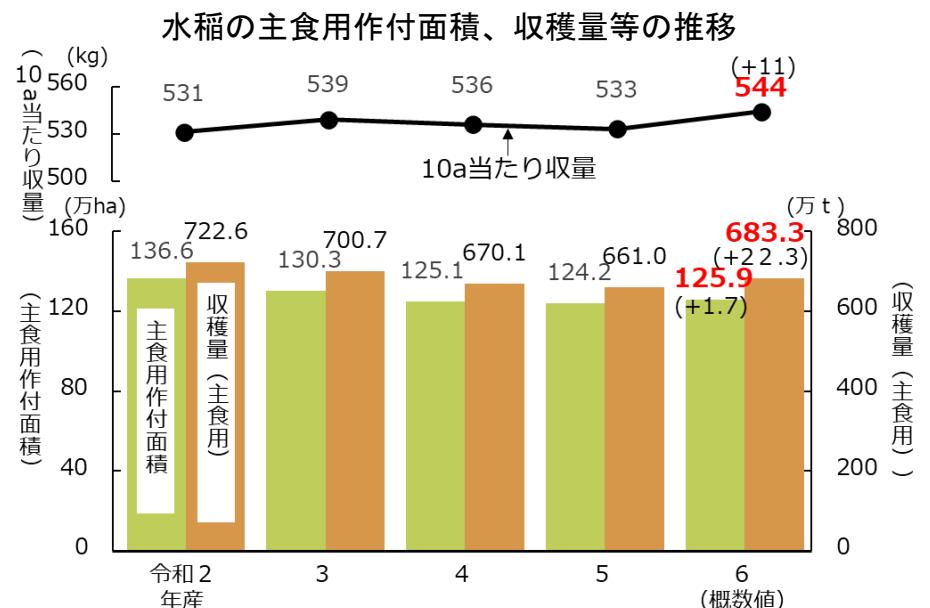
(単位:万トン)		
令和6年6月末民間在庫量	E	156
令和6年産主食用米等生産量	F	669
令和6/7年主食用米等供給量計 G=E+F		825
令和6/7年主食用米等需要量	H	673
令和7年6月末民間在庫量	I=G-H	152

注1：上記の見通しは、国内で生産された主食用米等の需給見通しであり、SBS方式による輸入米は含まれない。

注2：ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。



注：R5/6年は令和6年7月公表の基本指針における令和5/6年の需要実績（速報値）である。



前回（7月30日）

○ 令和5/6年の主食用米等の需給実績(速報値)

(基本指針の図1「令和5/6年の需要実績(速報値)」に基づき作成)

(単位:万トン)		
令和5年6月末民間在庫量	A	197
令和5年産主食用米等生産量	B	661
令和5/6年主食用米等供給量計	C=A+B	858
令和5/6年主食用米等需要量	D	702
令和6年6月末民間在庫量	E=C-D	156

・在庫量の確定に伴う
変更

②

・在庫量の確定

①

・令和6年9月25日
現在の予想収穫量に
基づく変更

③

④

・1人当たり消費量に人口を乗じる手法により
推計(最新値に更新)

⑤

○ 令和6/7年の主食用米等の需給見通し

(単位:万トン)		
令和6年6月末民間在庫量	E	156
令和6年産主食用米等生産量	F	669
令和6/7年主食用米等供給量計	G=E+F	825
令和6/7年主食用米等需要量	H	673
令和7年6月末民間在庫量	I=G-H	152

注1:上記の見通しは、国内で生産された主食用米等の需給見通しであり、SBS方式による輸入米は含まれない。

注2:ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

○ 今後、令和6年産米の収穫量の確定や精米歩留まり、在庫、消費の動向等を見極め、令和7年年明け以降に食料・農業・農村政策審議会食糧部会を開催し、令和7年から令和8年にかけての需給見通しの見直しについて、改めて諮問することとします。

今回（10月30日）

○ 令和5/6年の主食用米等の需給実績(確定値)

(基本指針の図1「令和5/6年の需要実績(確定値)」に基づき作成)

(単位:万トン)		
令和5年6月末民間在庫量	A	197
令和5年産主食用米等生産量	B	661
令和5/6年主食用米等供給量計	C=A+B	858
令和5/6年主食用米等需要量	D	705
令和6年6月末民間在庫量	E=C-D	153

○ 令和6/7年の主食用米等の需給見通し

(単位:万トン)		
令和6年6月末民間在庫量	E	153
令和6年産主食用米等生産量	F	683
令和6/7年主食用米等供給量計	G=E+F	836
令和6/7年主食用米等需要量	H	674
令和7年6月末民間在庫量	I=G-H	162

・令和6年産の
生産実績(令
和6年9月25
日現在の予想
収穫量)と同
水準の生産量

(単位:万トン)		
令和7年6月末民間在庫量	I	162
令和7年産主食用米等生産量	J	683
令和7/8年主食用米等供給量計	K=I+J	846
令和7/8年主食用米等需要量	L	663
令和8年6月末民間在庫量	M=K-L	182

・1人当たり消費
量に人口を乗
じる手法により
推計

注1:上記の見通しは、国内で生産された主食用米等の需給見通しであり、SBS方式による輸入米は含まれない。

注2:ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

主食用米等の需要の見通し

- 直近の5/6年の需要実績を用いて、6/7年及び7/8年の需要見通しを、30年11月の基本指針において採用した手法（1人当たり消費量（推計値）に人口（推計値）を乗じる手法）により算出すると、6/7年は674万トン、7/8年は663万トンの見通しとなる。

【前回(7月30日)】

	6/7年
1人当たり消費量(推計値)	① 54.4kg
人口(推計値)	② 123,788千人
	6/7年
需要見通し	①×② 673.4万トン

【今回(10月30日)】

6/7年	7/8年
54.4kg	53.8kg
6年	7年
123,780千人	123,198千人
6/7年	7/8年
673.7万トン	663.4万トン

年	需要実績 ①	人口 ②	1人当たり消費量 ①/②
8/9	万トン	千人	kg
8/9	943.8	125,859	75.0
9/10	912.9	126,157	72.4
10/11	907.3	126,472	71.7
11/12	885.9	126,667	69.9
12/13	911.5	126,926	71.8
13/14	872.1	127,316	68.5
14/15	894.7	127,486	70.2
15/16	861.6	127,694	67.5
16/17	865.4	127,787	67.7
17/18	851.7	127,768	66.7
18/19	837.5	127,901	65.5
19/20	854.5	128,033	66.7
20/21	823.6	128,084	64.3
21/22	814.1	128,032	63.6
22/23	820.0	128,057	64.0
23/24	813.3	127,834	63.6
24/25	781.1	127,593	61.2
25/26	786.6	127,414	61.7
26/27	782.5	127,237	61.5
27/28	766.2	127,095	60.3
28/29	754.0	127,042	59.4
29/30	739.6	126,919	58.3
30/元	734.6	126,749	58.0
元/2	714.4	126,555	56.4
2/3	704.0	126,146	55.8
3/4	701.5	125,502	55.9
4/5	691.1	124,947	55.3
5/6	704.9	124,352	56.7

注:人口は、総務省「人口推計」の各年10月1日現在の値である。

過去における米価と需要の関係

【主食用米の需要量と相対取引価格・小売物価統計の推移】



【需要減の背景】

<需要の状況>

・平成20/21年の需要実績は824万トンと、前年実績差▲31万トン(▲3.6%)。

<米価の状況>

① 食料の消費者物価指数が前年比+2.5%、うち、パンは前年比+10.1%、麺類は前年比+8.8%に対して、米は前年比+0.7%。
 平成20年産米の相対取引価格は15,146円/60kgで、前年比+982円、+6.9%。
 精米小売価格(コシヒカリ)は2,615円/5kgで、前年比+5円、+0.2%。

<需要の状況>

・平成24/25年の需要実績は781万トンと、前年実績差▲32万トン(▲4.0%)。

<米価の状況>

② 食料の消費者物価指数が前年比▲1.1%、うち、パンは前年比▲2.7%、麺類は前年比▲1.8%に対して、米は前年比+7.5%。
 平成24年産米の相対取引価格は16,501円/60kgで、前年比+1,286円、+8.5%。
 精米小売価格(コシヒカリ)は2,587円/5kgで、前年比+92円、+3.7%。

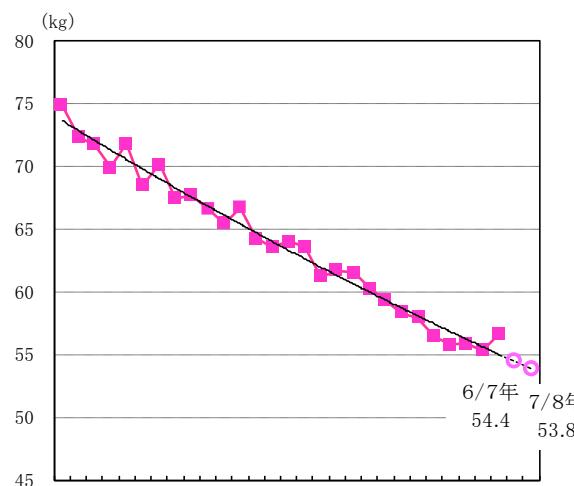
<需要の状況>

・令和元/2年の需要実績は714万トンと、前年実績差▲20万トン(▲2.7%)。

<米価の状況>

③ 食料の消費者物価指数が前年比+1.4%、うち、パンは前年比±0.0%、麺類は前年比+3.2%に対して、米は前年比+0.6%。
 令和元年産米の相対取引価格は15,716円/60kgで、前年比+28円、+0.2%。
 精米小売価格(コシヒカリ)は2,446円/5kgで、前年比▲4円、▲0.1%。

コロナの影響



<推計式>

$$y = 74.49197e^{-0.01084x}$$

$$R^2 = 0.9783$$

$$y = 74.46928e^{-0.01081x}$$

$$R^2 = 0.9774$$

注1 需要実績は、当年7月から翌年6月までの主食用米等の需要量。(資料:農林水産省「米穀の需給及び価格に関する基本指針」)

注2 消費者物価指数は、月次データの当年7月から翌年6月までの指数を単純平均により算出。資料:総務省「消費者物価指数2020年基準」)

注3 精米小売価格は、月次データの当年7月から翌年6月までの価格(東京都都区内におけるコシヒカリの価格)を単純平均により算出。(資料:総務省「小売物価統計動向編」)

① 令和6年6月末民間在庫量 【156万トン → 153万トン】

- ・「令和6年6月末民間在庫量」のうち、生産段階の在庫量について、改めて10月29日公表の「生産者の米穀在庫等調査結果」の「6月30日現在における在庫量」の確定値を基に推計(27.4万トン→24.8万トン)。
- ・出荷段階及び販売段階の在庫量について、速報値から確定値に更新(128.3万トン→127.9万トン)。
- ・これらにより、「令和6年6月末民間在庫量」を変更(確定)(「**153万トン**」)。

② 令和5/6年主食用米等需要量 【702万トン → 705万トン】

- ・上記①に伴い、令和5/6年主食用米等需要量を変更(確定)(「**705万トン**」)。

③ 令和6年産主食用米等生産量 【669万トン → 683万トン】

- ・令和6年9月25日現在の予想収穫量に基づき変更(「**683万トン**」)。

④ 令和6/7年主食用米等需要量 【673万トン → 674万トン】

- ・②の令和5/6年主食用米等需要量の確定値等を用い、改めて平成30年11月基本指針以降に採用している手法(1人当たり消費量(推計値)に人口(推計値)を乗じる手法)により算出し変更(「**674万トン**」)。

⑤ 令和7年6月末民間在庫量 【152万トン → 162万トン】

- ・上記①～④により、令和7年6月末民間在庫量を変更(「**162万トン**」)。

⑥ 令和7年産主食用米等生産量 【683万トン】

- ・令和6年産の生産実績(令和6年9月25日現在の予想収穫量)と同水準の「**683万トン**」と設定。

⑦ 令和7/8年主食用米等需要量 【663万トン】

- ・②の直近までの需要実績(確定値)を用い、④と同様、従来の算出方法(1人当たり消費量(推計値)に人口(推計値)を乗じる手法)により算出し、「**663万トン**」と設定。

⑧ 令和8年6月末民間在庫量 【182万トン】

- ・上記⑤～⑦により、令和8年6月末民間在庫量を「**182万トン**」と設定。

○ 今後、令和6年産米の収穫量の確定や精米歩留まり、在庫、消費の動向等を見極め、令和7年年明け以降に食料・農業・農村政策審議会食糧部会を開催し、令和7年から令和8年にかけての需給見通しの見直しについて、改めて諮問することとします。